

令和6年度 保育所の自己評価

社会福祉法人鹿児島福祉会 くすの子保育園

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づいて検討し、保育園（組織）としての自己評価について、評価の項目、視点、方法および評価結果の示し方等について標準的な様式として作成いたしました。

〈評価について〉

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

- A — 達成できている
- B — おおむねできている
- C — 一部検討を要する
- D — 改善を要する

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				
	(2)目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3)目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			保護者の意見を保育目標に取り入れた。
	(4)目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				前年度の反省を生かしている。
	(5)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			会議等で検討する機会は多い。 会議は正規職員を中心に参加しているが、全職員での検討や意見交換は保育体制上難しい。 会議等で子どもの発達や成長過程に沿っているか等検討し共有している。
保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				
	(2)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				日々の業務に追われることが多いが、その中でも子どもたちのことを考え、工夫している。 環境構成について、日々話し合いながら保育を行っている。
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。	○				様々な素材を使った製作を取り入れることが出来た。
	(5)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
	(6)園内・園外研修に参加または、職員同士話し合いを行い、子どもの権利の確保や保育の改善に努めているか。	○				園内研修が多く、全職員が共通理解をもてるようにしている。 園外研修に参加できていない為、今後参加したい。
日時程	(1)1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	○				デイリープログラムに沿って、必要に応じて柔軟性を持ち、1日を進めることが出来た。 現行の流れで良いと思う。 1日の流れを確立しつつ以上児ならではの活動を取り入れて、臨機応変に計画を遂行している。 月々において、各グループ変更が出てくるところはあるが、おおまかな流れはできている。
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	○				行事が多いと思う。 コロナ禍を経て、通常に戻りつつあり、子どもたちが楽しめる行事を行っている。 年齢に合わせた活動で各クラス行事が楽しめている。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				行事計画は、会議を通して子どもたちに合わせた内容を決めることができています。
	(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				乳児に合った内容のものが増えると良い。 子どもたちの発達や興味に合わせて内容の工夫を重ねたい。
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5)保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				グループ懇談会や面談、お迎えの際に保護者と話をし、意見を聞いている。

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			職員同士のコミュニケーションを図り、連携しやすい工夫をしていきたい。
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			保育補助等の職員も配置し、より支援を厚くしたい。
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				役職や経験年数を考慮して分担していることで偏ってしまう状況はある。業務の見直しや改善は必要である。 一人ひとりの仕事量が多かった。 行事の割り当てを検討したい。 2人担当の連携の難しさを感じる場面が多かった。
	運 営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			会議が多く、保育と併行して効率よく進めることが難しく感じることもある。 時間が足りず、次の会議に回すことがあった。 会議等で意見交換や話し合いの場を設けているが、限られた時間内で内容を深めることが難しい。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				職員同士協力して、1年間過ごせたと思う。
		(3)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			会議の際に、細かな所も話し合えば、何度も打ち合わせをしなくてよいと思った。 限られた時間で効率よく進めたい。
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				担任の先生方と引継ぎを行い、目標に沿って保育を行えた。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				自分自身が長く子育てで支援だったこともあり、年齢別のクラス運営にチームとして入りきれていないような気がし、努力が必要だと感じている。
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			クラス間で職員連携を図り保育を進められた。 活動で選択制保育や年齢別の保育を取り入れることができた。 活動の進め方や意味の理解を、研修を通して深めたい
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。(こどもの最善の利益等について)		○			子どもたちが楽しいと思うことができるように保育士が楽しいと思える内容で行っている。 職員間でのより密なコミュニケーションが必要である。
		(6)評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○			年度替わりに整理が不十分であった為、改善したい。
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				避難訓練は計画的に行っているが、時間を周知せず行う訓練も行っているのではないと思う。 避難訓練で不審者対応をしたい。
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				グループ懇談会での周知や講義の開催、おたよりでのお知らせをしている。
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				家庭と連携を取り合い保育を行えた。 アプリや連絡帳等を通して、共通理解・連携を図ることができた。 地域コミュニティと今後も連携を図り、育ちに配慮した環境を作りたい。

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
研究・研修	施設内	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○				
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				保育体制等により、思うように受けられなかった。
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				
		(5)各Gミーティングを通して、こどものへの声掛けや関わりに繋がっているか。	○				毎週のミーティングで意見を出し合い、子どもたちの関わりへ繋がられた。 子どもへの声掛けや関わり方を話し合って実践している。 個人ケース等、話し合いを通して共通理解し、対応に反映させられた。 職員間の様々な視点から意見交換ができています。
	施設外	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか。	○				研修に行かせてもらう機会は、多いと感じる。 研修会の参加の充実はしっかりしている。
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				研修報告書を回覧することで、還元することができた。
情報		(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報に気を付けて日々過ごした。 どこまで個人情報なのか悩むことがある。 取り扱いに注意し、所定の場所へ保管している。 写真掲載等、保護者に意向を聞き、慎重に取り扱っている。
		(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
		(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備		(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				毎月、チェックリストに基づいて点検している。
		(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			遊具は都度見直し、危険がないか確認をした。 整理整頓が難しい状況がある。習慣化、また取り扱いやすくする為の工夫が必要である。 備品庫の整理で保管場所が分かりやすくなった。 チェックリストを活用している。
		(3)不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			訓練をする必要がある。
		(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				しっかりと事務職員と話している。 会計の仕組みが分からず、難しいと感じることがあった。

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				観劇会で卒園児と交流を図ることができた。
		(3)指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め援助について共通理解を図っているか。		○			園内研修でグループワークなどの機会があった。 経験年数が異なる為、よりよいコミュニケーションや研修の機会が必要である。
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				より他の園と交流し、参観や視察があると、良い刺激になるかと思う。 3歳以上児担任として、参加できるようにした。 園自体を周囲の方に知って頂く機会を作りたい。
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				研修の場では、様々な園の方と話をし、良いところは見習えるようにした。
	家庭その他の連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			園見学等は、随時設けている。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は、適切か。		○			支援センターでは、保育園とタイアップで園の行事や雰囲気を知ってもらうことができたと思う。
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			支援センター職員と共有を行っている。
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			幼児は、地域のイベントに参加する機会があった。 もちつき会で地域の方々との交流ができた。
	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			園庭の広さ的に難しいと感じる。 講座等を園内で行っている。
		(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				より地域に開けた所として、行事等一緒に参加できる機会が増えると思う。
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	○				子育て講座を行い、育児の悩み事の解決に繋がる時間となったと思う。 1月に講師を招いて学習する機会を予定している。
		(4)職員による育児に係わる「子育て相談」は充実しているか。		○			いつでも面談を受け付けていることをお伝えしている。
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報発信	(1)園だより・クラスだより・HP等で施設の情報を発信しているか。	○				毎月、配信している。 利用者の意見を聞き、Instagramでのお知らせがよりよくなるよう改善に努めた。 行事ごとに必ずホームページに掲載している。 活動やお知らせが分かりやすいようになっている。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				周知の方法を増やせると良いと思う。 校区のコミュニティ会議に参加し、お知らせする機会がある。
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	○				
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				保護者からの意見を汲み取り、反映を行っている。 苦情や意見等、会議で検討し、改善に努めている。